

新年を語る

会派等の抱負

◎幹事長
◎副幹事長

夢と希望あふれる豊島区の発展に向けて

自民党豊島区議団

平成二十五年、謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに本年も区民の皆様がお健やかに過ごされましますことを、心よりご祈念申し上げます。

昨年、東日本大震災からの復興元年という位置付けでありました。豊島区においては直接の被災地ではありませんでしたが、公共の交通機関がマヒし、多数の帰宅困難者が発生する事態となりました。

我々は、東日本大震災以前より防災対策に取り組んでまいりましたが、震災後は更に積極的な提言をしています。特に防災拠点となりうる新庁舎整備の早期実現を柱に、現庁舎跡地の有効活用等、様々な施策の推進を行っています。27万区民の安全

・安心を確保するための施策を今後も展開してまいります。

また昨年は、区制施行80周年を迎えるとともに、大都市では初めての「セーフコミュニティ」の国際認証を取得するという、本区にとっては大きな節目といえる年でした。

京都市府亀岡市を初めとする既に国際認証を取得した都市を視察し、議会や委員会等で積極的に国際認証の意義を訴えてきた我々としても、非常に感慨深いものがありました。

長引く景気低迷の影響を受け、区の歳入の見直しは厳しさを増し、一方で老朽化したインフラの更新や整備、待機児童対策、産業振興への支出など、様々な行政課題が山積しており、難しい財政運営を迫られています。

我々は、今後の財政運営に際し、聖域なき「総点検」による更なる経費削減や事務事業の見直しを行い、盤石な財政基盤を構築する努力を継続しながら、効果的な財源の投入に一層の努力が必要と提言していきます。

本年は、新庁舎整備や西部複合施設などの大規模な投資的事業に加え、造幣局の移転や木密地域不燃化10年プロジェクトを中心とした歴史的な課題に取り組む極めて重要な年です。

我々自民党豊島区議団は、高野区長と共に、財政健全化に引き続き取り組むと共に山積した課題解決に向け、区議会最大会派の責務を果たしてまいります。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

日本再建を地域から！

公明党

謹んで、新年を寿ぎご祝詞を申し上げます。

旧年中は、公明党に対し、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

国際社会では、大統領選挙や政治指導者の交代が行われ、日本においても再建が大いに期待出来る年を迎えました。

さらに、認証取得への取り組みの中で、医療機関、消防、警察等様々な分野横断的な連携と協働が築かれたことは、今後の行政運営においても大きな財産です。

また本年、首都直下地震の切迫性から、仮称・防災対策基本条例の制定など総合的な災害対策を講じてまいります。

財政面では、円高や欧米での金融不安、さらに日中関係の悪化などにより、今後の景気の先行きが一段と不透明な状況であり、税収不足が懸念されるため、「身の丈」にあった財政運営を堅持し、健全化を推進していくことが喫緊の課題となっております。

区では、全ての事業を必要とする観点から「総点検」を実施しているところでございます。こうした状況下、本年公明党は、日本再建へ向けチーム力と、都議会、国会とのネットワークを活かし、先ず地域から政策実現をしてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

安心して暮らせる豊島区に全力をつくします

日本共産党

新年あけましておめでとうございませう。

昨年、消費税増税と社会保障改悪を、民自公が3党談合で強行しました。

また、原発依存のエネルギー政策やTPP参加への暴走など、国民の期待を裏切る政治が続いています。

その中で、脱原発を求める首相官邸前行動など、政治を変えようとする多くの国民が立ち上がった歴史的一年でもあり、日本共産党は

共同して取り組みました。区政においても問題は山積しています。

区民は、給与や売上げ、年金などの収入が減り、暮らしがますます深刻になっている中、国保料、後期高齢者医療保険料、介護保険料が上がりま

した。さらに区は、保育料の値上げ、被災地のためには使われない復興増税を決めました。それでもお金がないと言って、特別養護老人ホームの待機者と認

可保育園の待機児対策は不十分のまま、事業の総点検を行い、いっそう区民サービス削減を狙っています。

また、新庁舎建設、西部複合施設建設、LRT(路面電車)、池袋駅東西デッキなどの大型開発を進めています。

日本共産党区議団は、区政を福祉や教育、防災力向上に転換するため、皆様と力を合わせ、希望に満ちた明るい豊島を目指し全力をつくします。

人に優しい豊島区をつくりま

自治みらい

世界的な経済不況が続く、豊島区の財政も楽観できない状況に変わりありません。

私たち6名はみなさまの納められた税金の使い方を決めるといふ大きな役割を全うするため、施策の一つ一つを徹底的に検証し、議会

で提言してまいりました。子育て支援・高齢者福祉・教育・障がいのある方への施策、所得格差の拡がりによる貧困問題や、大都市としての防災や環境、都

市計画、これからは懸念される放射線物質対策などあらゆる面で、丁寧で無駄の無い、効率的なサービスを実現できるように、今年もいっそう邁進してまいります。

首都直下地震が予想されており、対策としての木密不燃化事業が計画されています。またちづくりや道路づくりは、防災・減災のためには言葉、地元

の理解が無くては進めることのできない事業です。説明責任を果

たし、丁寧な取り組みが必要で、副都心としての活力を生み出す施策とともに、WHOのセーフコミュニティの認証を得たからこそ、さらに住み暮らしを何より大事にする、まさに区民のみなさまのいのち・くらしを守る区政の実現を目指して

いく決意をいたしてまいります。新しい年が、区民のみなさまにとって良い年となるよう、心から祈念いたします。



◎竹下ひろみ



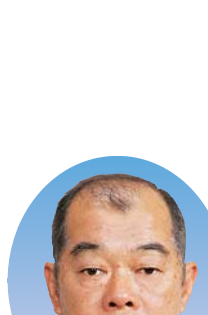
細川 正博



◎本橋 弘隆



ほし 京子



さとなか 郁男



◎河原 弘明



ほし 京子



さとなか 郁男



むらかみ 宇一



よしむら 辰明



いず 一昭



ほり 宏道



よしむら 辰明



◎山口 菊子



むらかみ 典子



◎大谷 洋子



ふじもと 藤本きんじ



いしかわ 大我



ながい 裕子



◎古川 知生



◎小林 弘明



◎古堺 稔人



せきや 二葉



たかはし かへこ 高橋佳代子



◎中島 義春



しまむら たかひこ 島村 高彦



つじ 薫



きのした ひろし 木下 広



にしやま ようすけ 西山 陽介



このしま すみこ 此島 澄子



ねいし みつはる 根岸 光洋

お知らせ

○11月14日付で、左記の2名は、国民の生活が第一(略称:生活)を新たに結成しました。

○12月4日、橋本久美議員は、平成24年12月16日執行の衆議院議員選挙への立候補を届け出たことにより、同日付をもって、公職選挙法第90条の規定により区議会議員を辞職されました。

○12月5日付で国民の生活が第一(略称:生活)は、日本未来の党(略称:未来の党)に名称が変更になりました。



明るい未来を切り拓くために

未来の党